

森林・山村多面的機能発揮対策交付金に係る実態調査
(調査票)

団体情報

団体名	
代表者氏名	
現在の構成員数	人
記入者氏名 連絡可能な電話番号 メールアドレス	※平日の昼間に連絡可能な電話番号をご記入ください

公益社団法人高知県森と緑の会では、高知県（林業環境政策課）からの委託を受け、森林保全活動を実施する団体を対象に実態調査を行います。

お忙しいところお手数をおかけしますが、ご協力のほどよろしくお願い致します。

1. 調査の主旨：

現在の活動状況やこれまでの施業地の現況、森林整備を継続するにあたっての課題等を把握し、今後の森林保全のための新たな活動支援策や県民参加の森づくりを進める施策の方向性を検討する基礎資料とします。

2. 調査対象：

令和3年度に森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業を実施した団体

3. 回答方法：調査票を郵送またはメールにて当会にお送りください。

Google フォームによる回答も可能です。

※ 調査票は、当会ホームページからダウンロードできます。

<https://www.moritomidori.com/business/shinrinhozen2021.htm>



4. 回答提出期限：2022年2月14日（月）

5. 記入上の注意点：

選択式の回答は、各設問の 1 つ選択 または該当するものを 全て選択 の表示に従って○をつけてください。記述式の回答は、回答欄に記入してください。

6. 調査結果について：

調査で取得した情報は個人情報保護法に基づいた適切な管理を行い、調査結果を高知県に提出します。

7. 問い合わせ・調査票提出先：

公益社団法人高知県森と緑の会（担当：井上・金澤）

〒781-8010 高知市棧橋通6丁目7番43号

総合保健協会合同庁舎5階

電話番号 088-855-3905

E m a i l info@moritomidori.com

(団体の活動について)

設問 1. 活動の頻度についてお聞きします。

下記から該当するものを 1つ選択 して○で囲んでください。

※森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業（以下、多面的事業）以外の
森林保全活動を含みます。

ア. 週に1回以上

イ. 月に1回以上

ウ. 3カ月に1回以上

エ. 半年に1回以上

オ. 1年に1回以上

カ. その他 ※具体的に記入してください

--

設問 2. 現在の活動内容について、下記から該当するものを 全て選択 してください。

(森林整備活動)

ア. 人工林の整備・保全

イ. 里山林の整備・保全

ウ. 竹林の整備・保全

エ. その他 ※具体的に記入してください

--

(普及啓発活動)

ア. 森林や自然等の学習（体験活動を含む）

イ. 木エクラフト

ウ. 森づくり体験（植樹・間伐等）

エ. その他 ※具体的に記入してください

設問3. 活動に参加している構成員の主な年齢層について、下記から該当するものを全て選択してください。

- ア. 20歳未満
- イ. 20歳代（20歳以上30歳未満）
- ウ. 30歳代（30歳以上40歳未満）
- エ. 40歳代（40歳以上50歳未満）
- オ. 50歳代（50歳以上60歳未満）
- カ. 60歳代（60歳以上70歳未満）
- キ. 70歳以上

（森林・山村多面的機能発揮対策交付金について）

設問4. 多面的事業についてお聞きします。

3年間の活動計画が終了した施業地はありますか？

下記のア・イから該当するものを1つ選択してください。

- ア 3年間の活動計画が終了した施業地がある >設問5-1へ
- イ 3年間の活動計画が終了した施業地はない >設問6へ

設問5-1. 多面的事業で整備した全ての施業地についてお聞きします。

3年間の活動計画が終了した後も整備を継続している場所がありますか？

下記から該当するものを1つ選択してください。

- ア. 全ての施業地で整備を継続している
 - イ. 一部の施業地で整備を継続している
 - ウ. 整備を継続している施業地はない
- } 設問5-2へ
- >設問5-4へ

設問５－２．整備を継続している場所の作業内容について、下記から該当するものを全て選択してください。

- ア． 下草刈り
- イ． 歩道・作業道の維持管理
- ウ． 新竹の除去
- エ． 鳥獣害防止のための作業
- オ． 森林資源の利用
- カ． その他 ※具体的に記入してください

--

設問５－３．整備を継続するための資金について、下記から該当するものを全て選択してください。

- ア． 土地の所有者が負担している
- イ． 団体で負担している
- ウ． 活動の参加者による参加費等で負担している
- エ． その他・補助金等 ※補助金名等、具体的に記入してください

--

設問５－４．３年間の活動計画が終了した後、整備を継続していない施業地についてお聞きします。

整備を継続していない理由を下記から全て選択してください。

- ア． 毎年の定期的な整備が必要ないから
- イ． 整備の必要はあるが、土地の所有者に依頼されていないから
- ウ． 土地の所有者または他の人や団体が整備しているから
- エ． 整備を継続するための資金がないから

オ. 整備を継続するための人員が確保できないから

カ. その他 ※具体的に記入してください

「関係人口創出・維持タイプ（サイドメニュー）」について

令和３年度から多面的事業に「関係人口創出・維持タイプ（サイドメニュー）」が新設されました。

このタイプは、「地域環境保全タイプ」または「森林資源利用タイプ」を効果的に実施するために、地域外関係者を１０人以上受け入れて活動する時に活用できます。

※地域外関係者：活動を実施する対象森林の所在する市町村外に居住する者

設問６. 「関係人口創出・維持タイプ」を活用して、
地域外関係者を受け入れて活動を行う意向はありますか？
下記から該当するものを１つ選択してください。

ア 今後、地域外関係者を受け入れて活動を行う意向がある >設問７－１へ

イ 地域外関係者を受け入れて活動を行う意向はない >設問７－３へ

設問７－１. 今後、地域外関係者を受け入れて活動を行う意向がある団体にお聞きします。
地域外関係者と活動を行う意向のある活動内容を下記から全て選択してください。

ア. 里山林保全

イ. 侵入竹除去・竹林整備

ウ. 森林資源利用

エ. その他 ※具体的に記入してください

設問 7-2. 地域外関係者を受け入れて活動を行うために必要な支援等について、
下記から該当するものを全て選択してください。

- ア. 団体に地域外関係者を紹介する支援
- イ. 安全装備や作業道具を購入するための費用の支援
- ウ. 安全管理や技能向上等のための講習の機会
- エ. その他 ※具体的に記入してください

--

＞設問 8 へ

設問 7-3. 地域外関係者と活動を行う意向はないと回答した団体にお聞き
します。その理由を下記から全て選択してください。

- ア. 地域外関係者を受け入れたいが、10人以上募るのが難しい
- イ. 地域外関係者を受け入れることで作業が非効率になるから
- ウ. 地域外関係者を受け入れるための事務的な手間がかかるから
- エ. 安全に作業を行うことに不安があるから
- オ. 構成員だけで活動を行いたいから
- カ. 地域外関係者と活動を行う必要がないから
- キ. その他 ※具体的に記入してください

--

多面的事業以外の施業地での森林整備について

設問 8. 現在、多面的事業以外の施業地で森林整備を行っていますか？
下記から 1つ選択 してください。

ア. 森林整備を行っている > 設問 9 へ

イ. 森林整備を行っていない > 設問 10 へ

設問 9. 多面的事業以外の施業地を整備するための資金についてお聞きします。
下記から該当するものを 全て選択 してください。

ア 土地の所有者が負担している

イ 団体が負担している

ウ 活動の参加者による参加費等で負担している

エ その他・補助金等 ※補助金名等、具体的に記入してください

--

団体が活動するための支援について

設問 10. 今後、活動の再開・継続・拡大を考えていますか？
下記から該当するものを 1つ選択 してください。

ア. 課題の解消や支援の有無に関わらず活動の再開を考えている

イ. 課題の解消や支援があれば活動の再開を考えている

ウ. 課題の解消や支援の有無に関わらず活動の継続を考えている

エ. 課題の解消や支援があれば活動の継続を考えている

オ. 課題の解消や支援の有無に関わらず活動の拡大を考えている

カ. 課題の解消や支援があれば活動の拡大を考えている

キ. 課題の解消や支援の有無に関わらず活動の再開・継続・拡大を
考えていない > 設問 15 へ

設問
11 へ

設問 1 1. 活動を再開・継続・拡大するための課題や必要な支援等について
お聞きします。下記から該当するものを全て選択してください。

- ア. 多面的事業による継続支援（4 年目以降に同じ施業地を整備する場合）
- イ. 多面的事業以外の補助金等による活動資金の支援
- ウ. 安全装備や作業道具を購入するための費用の支援
- エ. 安全管理や技能向上等のための講習の機会
- オ. 活動ができる場所の確保
- カ. 地域課題とのマッチング
（例：整備を必要とする里山等の所有者に団体を紹介する等）
- キ. 構成員の増員
- ク. 事務局体制など団体の運営面の支援
- ケ. 課題や必要な支援等は特にない
- コ. その他 ※具体的に記入してください

（ボランティアの受け入れについて）

高知県では、県民が参加するボランティアによる森林保全活動を推進しています。ボランティア活動に関心のある人（以下、ボランティア）をあなたの団体が活動する時に受け入れすることについてお聞きします。

※ボランティアによる森林保全活動には、森林整備活動（人工林、里山、竹林等の間伐、伐採等）と普及啓発活動（自然体験、木工クラフト等）があります。

設問 1 2—1. ボランティアの受け入れは可能ですか？

下記から該当するものを1つ選択してください。

- ア. すでに受け入れしている（積極的に募集している）
- イ. すでに受け入れしている（希望があれば受け入れている）
- ウ. 今後、受け入れる意向がある（積極的に募集する）
- エ. 今後、受け入れる意向がある（希望があれば受け入れる）

設問
1 2—2 へ

オ. 受け入れる意向はない >設問 12-5へ

設問 12-2. ボランティアをすでに受け入れしている、または今後、受け入れる意向があると回答した団体にお聞きします。

受け入れが可能な活動を下記から全て選択してください。

- ア. 通常行っている森林整備活動
- イ. 通常行っている普及啓発活動
- ウ. 1日限りのイベント型の森林整備活動
- エ. 1日限りのイベント型の普及啓発活動
- オ. その他 ※具体的に記入してください

--

設問 12-3. 受け入れが可能な人を下記から全て選択してください。

- ア. 森林整備の経験があり、一人でもある程度の作業ができる人
- イ. 未経験者や初心者でもやる気のある人
- ウ. 継続して活動に参加する意思のある人
- エ. 継続して活動に参加する意思のない人
- オ. 1度参加してみてから、継続を検討する人
- カ. 森林整備に必要な道具や安全装備を持っている人
- キ. 森林整備に必要な道具や安全装備を持っていない人
- ク. その他 ※具体的に記入してください

--

設問 1 2 - 4. 受け入れに必要な支援等の下記から全て選択してください。

- ア. 安全装備や作業道具を購入するための費用の支援
- イ. 安全管理や技能向上等のための講習の機会
- ウ. ボランティアを受け入れている団体の紹介等の情報発信
(ホームページ等)
- エ. 団体にボランティアを紹介する支援
- オ. ボランティア活動に関する相談窓口
- カ. その他 ※具体的に記入してください

--

＞設問 1 3 へ

設問 1 2 - 5. ボランティアを受け入れする意向はないと回答した団体にお聞きします。その理由を下記から全て選択してください。

- ア. ボランティアを受け入れることで作業が非効率になるから
- イ. ボランティアを受け入れるための事務的な手間がかかるから
- ウ. 安全に作業を行うことに不安があるから
- エ. 受け入れに適した場所がないから
- オ. 指導者や作業補助に必要な人員が不足しているから
- カ. その他 ※具体的に記入してください

--

(森林環境学習について)

高知県では、学校や講師を派遣する団体に「山の学習支援事業費補助金」を交付し、子どもたちの森林環境学習や体験学習を支援しています。

小中学校等から森林環境学習等の要望があった場合に、あなたの団体で対応できることについてお聞きします。

設問 13. 講師の依頼があった場合に対応できるものを下記から全て選択してください。

- ア. 森林の働きや山の手入れ等の講話
- イ. 森の散策ガイド
- ウ. 樹木調べ・樹木の名札つけ
- エ. 植樹体験
- オ. 間伐体験
- カ. 竹林整備体験
- キ. きのこの駒打ち体験
- ク. 炭焼き体験
- ケ. 薪割り体験
- コ. 木工体験
- サ. 対応できるものはない
- シ. その他 ※上記以外に対応できる内容を記入してください

--

- _____

設問 1 4 - 4. ネットワークの会費が有料である場合、妥当だと思う金額を記入してください。

	円
--	---

＞設問 1 5 へ

設問 1 4 - 5. ネットワークに加入（継続）したいと思わないと回答した団体にお聞きします。その理由を記入してください。

--

＞設問 1 5 へ

(その他)

設問 15. 森林整備や森林保全ボランティア活動（有償・無償）の在り方等、自由にご意見を記述欄に記入してください。

質問は以上です。実態調査にご協力いただき、ありがとうございました。